

中江の勝利で新たな市民運動を大盛況

四月二日、船橋中央公民館において「中江昌夫とともに 新谷のり子明日を歌う 船橋市民の集い」が開かれ、中江候補とともに反戦を語り歌う集会として大成功を勝ち取りました。集会には船橋市民をはじめとする一五〇名が参加し、中江候補の必勝をかちとり、反対同盟に学び新たな市民運動をつくりあげる決意をあらためて確認しました。



第一部・新谷のり子さんが歌った60分

第一部はベトナム戦争に反対し「フランチーヌの場合」を歌って以来14年間、反戦の心を歌いつづけている歌手の新谷のり子さんが登場しました。新谷さんは、「いま想像を絶する国鉄攻撃の嵐の中で、動労千葉が闘っていることを常に尊敬しています。中江さんを市議会におくる運動の手助けができればと今日はやってきました。反戦・反核の運動を高揚させ、労働者のすばらしい社会をつくるための願いをこめて歌います」とあいさつし、「世界中の子供達へ」から「フランチーヌの場合」までを一時間にわたって歌いあげ、さかんな拍手を浴びました。

第二部・中江候補が抱負と力強い決意を語る

第二部は中江候補がたち、市議選にたつ抱負と力強い決意を次のように述べました。子供達に未来を与える運動をしなればと、「反核・護憲」の署名運動をとりくみ、八千名の署名を求めました。十五分で否決されました。日本の市民運動の頂点、三里塚の農民のように、いまこそ行動する根強い市民運動をつくろうではありませんか。中曽根の軍大化の攻撃は、船橋でも下総基地の米軍使用問題、習志野のクレーター未遂事件として、身近に危険な戦争が切迫しています。高校の世論調査では、徴兵制復活反対は八八%、改憲反対は八〇%を越えています。この平和を求める声を守つていかねばなりません。「市民の会」運動の新しい方向として、戦争の経験をみんなで語りつぐようではありませんか。この草の根運動が大きく高まっていく時、すべての市民の生活が守れると思います。船橋市に大きな災として燃えたたせようではないか。一人ひとりが行動的な市民運動を、反対同盟に学び、粘り強い闘いをつくりあげようではありませんか。

第三部・市民の会代表四人が中江必勝の決意を語る

第三部は船橋市民の会々員として、中江候補の勝利にむけ活動されている「市民の会」の代表のあいさつをうけました。

新高根 主婦 Nさん

にせもの平和の中で、これが平和なんだと思いきんで暮してきましたが、



私達の知らない所で戦争へと時代が流れていくことを何とかしなければと思っています。中江さんに期待しています。金杉台 主婦 Hさん
中江さんとは市民の会で始めて知り真面目で誠実な人で、中江さんが議員になるとプラスになると思い一緒に行動してきました。南本町 Aさん(76才)

八〇名近い候補がいても、一銭の税金もやりたくない人達ばかりだ。どうしても中江さんを当選させようではありませんか。宮本町 Yさん(76才)
戦争が再び行われようとする時代に、反対しようとする党がない。私は初めて3・27三里塚集会に参加した。最後の革命運動として中江さんとともに闘う。集会は、最後に動労千葉の関川委員長から「みんなで力を合わせ戦争への流れの向きを変えよう。中江こそ先駆者だ」との激励のあいさつを受け、大盛況のうちに終了しました。